

福祉 ぐんま

NO.251
2015 冬号



社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会



■主な内容

- *特集 権利擁護と日常生活支援…2～3
- *年頭のごあいさつ…4
- *平成26年度介護支援専門員実務研修受講試験結果…4
- *平成26年度ぐんま子育て支援フェスタ開催のご案内…4
- *社会福祉法人福利厚生センターのご案内…5
- *ボランティア情報…6～7
- *素敵な笑顔…8
- *福祉の仕事さがしをお手伝いします!…8

社会福祉法人みやぎ会 デイサービスセンター あゆみの里
五十嵐慎太郎さん
(関連記事は8ページに掲載)

「福祉ぐんま」の作成経費として共同募金配分金を使用しています。

特集

権利擁護と日常生活支援

少子・高齢化の進展、家庭機能の変化などにより我が国の社会福祉を取り巻く状況は大きく変化してきた。そのような中で、判断能力が不十分であるため、福祉サービスを十分活用できないという問題や、身の回りのことや金銭管理ができないなど、日常生活に支障をきたす事例も増加し、更に、虐待、金銭的搾取など権利侵害も生じている。

群馬県社協では、これらの課題に対し、日常生活自立支援事業を中心に利用者個人の尊厳を確保しつつ、次の事業を展開している。

成年後見等研修会 開催

“個人の尊厳～一人ひとりが大切にされて誇りをもって過ごせるように～”

平成26年10月28日に基礎編、11月4日に実践編を開催しました。福祉関係者や一般県民等のべ280名が参加しました。講師には、群馬県社会福祉士会・ばあとなあ群馬センター長の内山恵子氏、公益社団法人リーガルサポート群馬支部長の東 歩氏、研修部長の曾根康仁氏、弁護士法人龍馬の小此木清氏を迎えました。それぞれ、専門職後見人の立場からのお話がありました。

75歳以上高齢者は2055年には25%を超える見込みであり、今後ますます成年後見制度の必要性が高まることが予想されます。参加者からは参考になったという声の他、具体的な事例をもっと知りたい等、今後も学んでいきたいという意欲が挙がっていました。



身上監護を中心に話をする内山恵子氏

権利擁護セミナー 開催



刑務所で見た課題等を語る山本議司氏

“福祉の力の見せ所”

平成26年11月28日に開催し、約230名が参加しました。今年度は、12基幹社会福祉協議会の他、群馬県地域生活定着支援センターとも共催し、「福祉から忘れられた人々～矯正施設退所後の生活支援を考える～」というテーマを設けて開催しました。

日常生活自立支援事業の説明、渋川市社協による事例発表、地域生活定着支援事業の説明、講演を行い、講師には作家で元衆議院議員の山本議司さんをお招きしました。

山本さんからは刑務所での体験談を基に、矯正施設の中にいる知的、精神障がい者の実情や退所後の障がい者や高齢者が福祉の人たちと繋がっていないこと、地域生活のしづらさや行き場所がないことから再犯を繰り返す現状、福祉と司法の連携について等お話がありました。地域生活定着支援事業や社会福祉協議会、あらゆる福祉に関わる人達や地域社会の意識についての期待とメッセージが寄せられました。

日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

平成11年10月からスタートした「日常生活自立支援事業」は判断能力が不十分な高齢者や知的・精神障がいをお持ちの方の地域生活を支える一翼として、県内12の基幹社協に事業の一部を委託し、他の23社協の協力体制のもと実施しています。

本事業の利用者は以下の通りです。

利用者は年々増加傾向にある中、対応に苦慮する困難なケースや多くの課題を抱える家族ケースもありますが、本事業を通じて、利用者が福祉サービスに繋がったり、生活設計が立てられるようになるなど、地域住民の安心した生活を支える一助を担っています。

しかし予算措置されている相談から契約、日常的な支援を行う基幹社協専門員の数は十分とは言えない現状があり、地域により利用者の増加、困難なケースへの対応などにより、すぐに対応できない場合もあります。潜在的利用者は、少子高齢化等により増加が見込まれています。本会では、専門員の業務見直しと今後のあり方を検討していくため「専門員検討会」を開催し、ワーキンググループを設け、自助努力を行いながら、必要なことを協議しています。今後関係者の方々の意見を参考に、ご協力をいただきながら、本制度の改善について検討を進めていく予定です。

日常生活自立支援事業 群馬県内の利用者数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
平成26年度 (10月まで)	511 (53.7%)	196 (20.6%)	245 (25.7%)	952
平成25年度	495 (53.3%)	197(21.2%)	236(25.4%)	928
平成24年度	504(55.3%)	181(19.8%)	227(24.9%)	912
平成23年度	495(57.5%)	164(19.0%)	202(23.5%)	861
平成22年度	465(57.9%)	153(19.1%)	185(23.0%)	803
平成21年度	446(60.6%)	128(17.4%)	162(22.0%)	736

開催します

虐待防止セミナー

- 日時** 平成27年2月2日（月） 13時30分～〈受付13時～〉
- 会場** 群馬県社会福祉総合センター8階ホール
群馬県前橋市新前橋町13-12
- 内容** テーマ「どこから虐待？何が虐待？ ～虐待と権利擁護を考える～」
講師 公益社団法人あい権利擁護支援ネット 代表理事 池田恵利子 氏
- 参加費** 無 料
- 定員** 335名（定員に達した場合は、締め切らせていただきます。）

年頭のごあいさつ



社会福祉法人
群馬県社会福祉協議会
会長 下城 茂雄

皆様方におかれましては、平成27年の新春を健康やかに迎えることとお慶び申し上げます。今年の干支は羊（未）ということで、群れなす未は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しています。本年が穏やかで良い1年となりますよう、そして、皆様方のご多幸とご活躍ご発展を心からお祈りいたします。

さて、急速に進む少子高齢化の中、人口減少社会の到来が危惧されておりますが、社会・経済状況が大きく変化する現在、人間関係の希薄化、家庭の機能低下、地域社会の機能の脆弱化などにより、孤立や困窮など、従来の制度では解決できない、深刻で複雑なさまざまな福祉課題・生活課題が生じております。

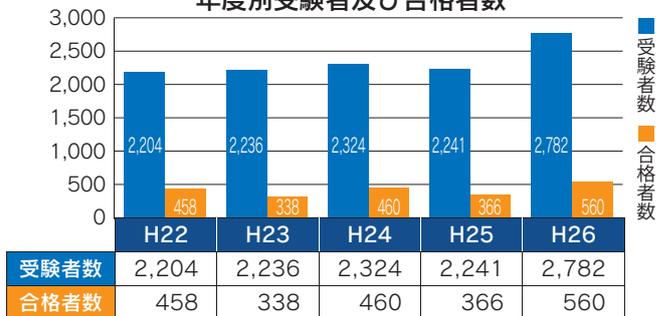
早いもので、東日本大震災から3年9か月が経過いたしました。私どもは、今後とも被災された方や被災地に寄り添い、息の長い支援を続けていきますが、あの大震災で再認識されたように、地域社会のあらゆる人々が、福祉の担い手となって、それぞれの役割を果たし、互いに助け合い、支え合う社会を再び築き上げていくことを最大の責務として取り組んでいかなければなりません。

これからも「県民だれもがともに支え合い、住みなれた家庭、地域で、その人らしく、安心して暮らせる福祉社会」の実現に向けて、みんなで協力しながら、一歩一歩進んでいきましょう。本年もどうぞよろしく願っています。

平成26年度群馬県介護支援専門員実務研修受講試験 — 県内4会場で実施 —

- 実施日 平成26年10月26日（日）
- 会場 上武大学（伊勢崎キャンパス）他
- 受験者数 2,782名
- 合格者数 560名
- 合格率 20.1%

年度別受験者及び合格者数



群馬県社会福祉協議会では、平成19年度より群馬県の委託を受け、また、平成22年度より指定試験実施機関として、群馬県介護支援専門員実務研修受講試験を実施しています。

この試験は、介護支援専門員の養成に当たり、介護支援専門員実務研修を受講する前段として、事前に必要となる専門知識等を有していることを確認するために行うものです。

介護支援専門員は、介護保険に規定された専門職として、要介護者や家族からの相談に応じ、要介護者が自立した日常生活を営めるように、本人や家族の意向、心身の状態等を勘案し、サービ

ス計画（ケアプラン）を作成します。また、ケアプランの策定後は、要介護者や家族の状況に応じてケアプランの変更・修正を行います。

この試験を受験できる方は、保健・医療・福祉の分野で、原則5年以上の対人援助業務を経験した方が対象となります。

本年度は、10月26日（日）に実施し、2,782名が受験し、約2割の560名が合格しました。（合格発表日 12月10日）

合格者には、今後実務研修修了後、介護現場で良質なサービス提供に向けて頑張ってもらいたいと思います。

平成26年度 ぐんま子育て支援フェスタ 開催のご案内

ぐんま子育て支援センター連絡会と群馬県社会福祉協議会は、「つながれ 広がり 子育て支援の輪」をテーマに「ぐんま子育て支援フェスタ」を開催いたします。

- 日時 平成27年2月21日（土）14時～（13時開場）
- 会場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール（前橋市新前橋町13-12）
- 内容 ①「笑える！遊べる！あそびうた」 出演：鈴木 翼さん
②県内の各子育て支援センターの活動紹介
- 入場料 無料（先着300名）
- 参加申込 事前に申込みが必要です。県社協施設福祉課までご連絡ください。
- 問い合わせ 施設福祉課 TEL：027-255-6034



(c)藤田修平

鈴木 翼さん プロフィール：

保育者向け講習会のほか、保育雑誌への執筆、親子コンサートや保育園や幼稚園、子育て支援センターなどであそび歌ライブを行っている。

NHK BSプレミアム「みんなDEどーもくん」に出演。2013年4月からNHK BSプレミアム「おとうさんとっしょ」の遊びや歌の提供BSフジ「モジーズ&YOU」レギュラー出演など活動も広がっている。

職員の福利厚生はおまかせ!

会員数
24.1万人
(平成26年10月現在)

新規会員募集中

豊富な
サービス
メニュー

ソウェルクラブ "クラブオブ"

全国**75,000**か所以上の
各種施設が優待料金。

- ホテル・リゾート ● ライフサポート
- レジャー ● ビューティー&スポーツ
- 映画

生活サポート

- 特別資金ローン
- ソウェル保険(団体生命・積立)
- ソウェル保険(傷害・入院・がん)
- ショッピング 他

地域(都道府県)サービス

- 会員交流事業
(日帰り・宿泊旅行、観劇・コンサート、
テーマパークツアー、
スポーツ大会、テーブルマナー 他)
- 地域開発メニュー
(宿泊、リゾート、レジャー施設割引 他)

トラベル&スポーツ

- 全国提携宿泊施設
- テーマパーク
- 国内・海外パッケージツアー
- レンタカー
- スポーツクラブ
- スクール 他

各種情報提供

- ホームページ
- ハンドブック ● 情報誌
- オリジナル手帳の配布
- ソウェルクラブニュースの発行 他

充実した基幹サービス



- 生活習慣病予防健診 1人 **4,120円**助成
- 健康生活用品給付 毎年**1品**贈呈
- ころとからだの電話健康相談 相談料・通話料**無料**
- 各種お祝品贈呈
 - ・結婚お祝い **1万円**の商品券
 - ・出産お祝い **1万円**の商品券
 - ・入学お祝い **5,000円**の商品券
 - ・永年勤続 5、10、15、20、25、30年勤続
5,000円~5万円相当の記念品
- 万一の際
 - ・会員死亡 **60万円**(就業中の事故…**180万円**)
 - ・配偶者死亡 **10万円**
 - ・高度障害 **60万円**、後遺障害 **最高120万円**
 - ・入院 1日 **1,000円**、入院中に手術 **手術内容に基づき給付**
 - ・災害見舞金 法人 **20万円**、会員個人 **1万円**
- 資格取得 **5,000円**相当の記念品
- 各種講習会 受講料・教材費**無料**
- 海外研修 費用の**半額程度**助成
- クラブ・サークル活動 1人あたり **1,000円**助成
- 指定保養所 優待料金+会員**2,500円**引き
- 会員制リゾート 法人会員料金



ソウェルクラブ
Sowel
CLUB

ソウェルクラブの資料請求、加入のお申し込みは
社会福祉法人 福利厚生センター

http://www.sowel.or.jp 詳しくは で または、お電話でお問い合わせください。
TEL ☎ 0120-292-711 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビル10階



ボランティアセンター

社会福祉法人 川場村社会福祉協議会

ボランティア情報

川場村社会福祉協議会では、ボランティア活動の支援として、各団体が個々に行っているボランティア活動の後方支援を中心としたお手伝いをしています。その中で、今年で22年間続いているボランティア活動「川場村クリーンキャンペーン」を紹介します。



参加者による沿道の清掃活動の様子

川場村ボランティア連絡協議会が主催し、川場村と川場村社会福祉協議会が後援して行っているこの取り組みは、今年で22回目となりました。村民に呼び掛け、“みんなで自分達の住む川場村をキレイにしよう”という趣旨のもとで行う活動で

す。村民をはじめ、各団体や小学生、中学生にも協力していただき、村内の主要道路周辺のゴミ拾いや、草刈りなどを8～10のグループに分かれて行います。また、更生保護女性会や婦人会の方々には炊き出しをしていただき、作業終了後に昼食として参加者皆さんに召し上がっていただきます。

年々ゴミは減ってきていますが、人目に付きにくい道路周辺にはゴミや缶、ペットボトルなどが多く、こういった場所も含めて村全体をきれいにしていきたいと思っています。

これからも、キレイで住みやすい川場村を目指して、皆さんと協力し、様々な面で福祉の推進に努力していきたいと思っています。



作業後、昼食をとりながら歓談の様子

社会福祉法人 川場村社会福祉協議会

〒378-0101 利根郡川場村大字谷地3086番地1 ふれあいの館

TEL 0278-50-1122 FAX 0278-50-1123

平成26年度ぐんまボランティアフォーラムを開催します!

ぐんまボランティアフォーラムは、県内のボランティア活動者や団体、活動に興味のある方々が、少しでも地域でいきいきとボランティア活動に取り組んでいただけるような気づきや学びを持ち帰っていただく内容で開催いたします。

なお、内容の詳細につきましては、後日本会ホームページにて掲載する予定です。また、ボランティア活動団体用の出展ブースを設ける予定でありますので、もし出展のご希望がありましたら、下記までお問い合わせください。(お申込みはお電話でも受け付けております。)

▶ 内容 日 時：平成27年2月11日(水・祝) 12:30受付 13:00開始(展示ブースは12:00～予定)

場 所：群馬県社会福祉総合センター 多目的ホール(〒371-8525 前橋市新前橋町13-12)

対 象：どなたでもご参加いただけます(335名 申込み先着順)

話し手：鈴木 盈宏^{みつひろ}さん

○講師プロフィール○

1946年、愛知県岡崎市生まれ。元トヨタ自動車(株)トヨタボランティアセンター長、愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会委員長、NPO法人愛・地球博ボランティアセンター副理事長、公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知副理事長、愛知淑徳大学講師、愛知県防災局主催災害ボランティアコーディネーター養成講座講師など

▶ お問い合わせ 群馬県社会福祉協議会地域福祉課 ぐんまボランティア・市民活動支援センター

TEL:027-255-6111 FAX:027-255-6444

社会福祉協力校

桐生市立新里中央小学校

1. 福祉教育の目標

本校の福祉教育は、様々な体験や活動を通して『人への優しさ』や『温かい心』を育てることを目標に活動をしてきました。

相手を思いやり尊重できる児童の育成を図っています。

2. 三年間の取り組み内容の紹介

①学習活動における福祉教育

四年生の総合的な学習では、手話勉強会やブラインドウォーク、認知症サポーター養成講座を行い、幅広く福祉に関する体験をしました。また、五年生では命を育む講座を行い、助産師さんや妊婦さんの話を聞きながら、命の誕生や命の大切さなどについて考えました。そして六年生では、ブラインドウォークや車いす体験、高齢者疑似体験を実施しました。このように各学年の学習活動を通して、福祉について体験し考え、話し合う学習を続けてきました。

②地域との関わり

運動会では、地域の回覧板でお知らせし、お年寄りをお招きしました。そして四年生

からのお手紙をプレゼントし、交流をしました。また、年二回の花いっぱい運動に児童が参加し、一緒にサルビアなどの花を植え、地域の方々と交流をしました。

③児童会・委員会活動

代表委員会が定期的に朝、玄関前に立ち、全校児童に「あいさつ運動」を行い、児童が積極的にあいさつへの意識を高める機会となりました。また、代表委員会が呼びかけをし、年に二回のアルミ缶回収を行いました。児童主体で行うことにより資源のリサイクルなどについても考える機会となりました。

④全校での取り組み

全校で「二人一鉢運動」を行い、児童一人ひとりがパンジーやビオラを育て、卒業式や入学式に飾っています。

また、年間を通してペットボトルのキャップ回収にも取り組んできました。



認知症サポーター養成講座

3. 三年間の成果と課題

児童は、様々な体験や活動を通して、福祉教育の目標である『人への優しさ』や『温かい心』を育むことができてきたと思います。

今後は、三年間で培ってきた体験や活動を生かし、地域の方々やお年寄りの方々との交流を通して、さらに、幅広い視野をもって様々な取り組みをしていきたいと考えています。

平成26年度

ふれあい・いきいきサロン研修会を開催しました!

身近な地域で暮らす住民同士が集まって「おしゃべり」や「レクリエーション」などを楽しみながら、定期的な交流を通して、心豊かな暮らしをお互いに支えあい、応援しあっていく「ふれあい・いきいきサロン活動」を社会福祉協議会は推進しています。

平成26年度は県内5ブロックで研修会を開催しました。「サロンをもっと楽しむために」というテーマのもと、サロンの活動実践事例発表やレクリエーション研修などを行い、延べ1,500名以上の方々にご参加いただきました。



研修会の様子

冬号表紙

素敵な笑顔



学生時代から野球が好きで、現在もチームに所属しているという五十嵐さん。来年は全国大会の出場も控えているとのこと。頑張ってください！

「デイサービスセンターあゆみの里に勤めて12年になる五十嵐さん。人と人のコミュニケーションを大切に、真摯に介護に向き合つ、その原動力を探ってみました。」
 ＊介護士を目指したきっかけは？
 進学を考える時期、担任の先生から福祉という道を進めてもらったことがきっかけでした。もともとおばあちゃん子だったのでお年寄りの方と接することは好きでしたし、ちょうどその頃祖母が入院していたことも理由のひとつですね。その時の看護師さんや、専門学校時代の実習先での職員の方たちがとても和気あいあいと利用者さんと話しているのを目の当たりにし、「自分もこんな風になりたいな」と思いました。

＊仕事で大切なことは？
 「声かけ」ですね。不安そうなお方がいれば、一声かけてあげるとか、そういううちよつとした気遣いで利用者さんも変わってきます。例えば認知症の方のお世話をするときは、こちらの配慮が足りないかと相手も困らせてしまうことにもなります。でも「しますよ」とひと声かけてあげるだけで、相手もちゃんと理解をしてくれ、日々の積み重ねが大事です。

＊仕事でのやりがいは？
 やつぱり長い期間一人ひとりと向き合うからこそ、その人のことを理解できて、それによってどういう接し方がいいかが見えてきます。そういうふれあいの中で、話を通じたり、自分の話で笑ってくれたりすると嬉しいですね。

＊日々のリフレッシュ方法はありますか？
 趣味の時間ですね。ゲームが好きで、ちょっと夜更かししてゲームしたりして、そうやって自分の好きなことに時間を当てることで、翌朝スッキリした顔で挨拶ができるのだと思います。時には利用者さんの死に直面したりと、悲しいこともありますが、利用者さんの前ではなるべく明るく笑顔で接していかなければいけない。そういうとき、気持ちの切り替えができることはとても大事です。

あとは、家族ですね。最近子どもが生まれたんです。仕事から帰ると寝ていることもありすが、その寝顔だけで十分癒やされます。それだけで「よし、がんばろう！」という気持ちになれます。

＊福祉職を目指す方にメッセージ
 介護の仕事は人対人のコミュニケーションが大事です。なにか悩んだことがあったとき、壁にぶつかったとき、自分からそれを相談できないところも悩みを共有して解決へ導いてあげられない。だから抱え込まずに、些細なことでも相談できるように、人と会話する事を大切にしてください。話してくれば、そこから交流が深まり、信頼関係も生まれてきますよ。

福祉の仕事さがしをお手伝いします！

群馬県福祉マンパワーセンターおよび高崎市・太田市福祉人材バンクでは、福祉人材無料職業紹介事業を実施しています。ぜひお気軽にご利用ください。

福祉の仕事を希望する方は…

窓口にご来所のうえ、求職登録をしてください。求人情報等を月1回ご自宅へ郵送する他、希望の求人があった場合、紹介状を発行しています。

福祉施設等の従事者を募集するには…

インターネットでの求人登録が便利です。「福祉のお仕事」ホームページから事業所登録を！

こんな事業も実施しています

求人事業所と求職者との就職面接会や求職者を対象とした就職支援セミナー等を実施しています。

窓口は県内に3ヶ所

- 群馬県福祉マンパワーセンター
TEL 027-255-6600 FAX 027-255-6040
〒371-8525 前橋市新前橋町 13-12
(県社会福祉総合センター6階)
- 高崎市福祉人材バンク
TEL 027-324-2761 FAX 027-320-8378
〒370-0045 高崎市東町 80-1 (高崎市労使会館1階)
- 太田市福祉人材バンク
TEL・FAX 0276-48-9599
〒373-0853 太田市浜町 2-7 (太田市福祉会館1階)

パソコン版

<http://www.nw.fukushi-work.jp/>

福祉のお仕事

検索

モバイル (携帯電話) 版

<http://www1.fukushi-work.jp/cool/m/>

ケイタイはこちら→



★ホームページ「福祉のお仕事」でも求人検索ができます。

編集/発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

〒371-8525 (専用郵便番号)

群馬県前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター内

TEL 027-255-6033(代表)

FAX 027-255-6173

URL <http://www.g-shakyo.or.jp/>

発行日 平成27年1月1日

群馬県社会福祉協議会正規職員の公募

採用日 平成27年4月1日 採用予定 若干名
 資格要件 年齢35才まで (S54.4.2以降に生まれた方)、大学卒 (見込不可)、普通自動車免許 (A T可) のすべてを満たす方

1次試験日 平成27年1月31日(土)

2次試験日 平成27年2月22日(日)

申込み締め切り 平成27年1月20日(火) 午後5時必着

応募を希望する方は指定の申込書を取得してください。(郵送での取り寄せは1/6まで) 詳細はHPを確認してください。